

# 街路樹

## 前を向いて少しずつ、今できることを精いっぱい

### 少しずつ

とある学校の職員室にて。

先輩教師A「B先生、久しぶり。夏休みはリフレッシュできた？」

後輩教師B「あ、A先生。そうですね、さっきまでは……………」

A「さっきまで？」

B「正直言って、夏休みはいっぱい気分転換しようと思っていたんです。一学期はずっと…重苦しい感じが続いていたし…」

A「そうだったわね。先が見えない不安が大きかった」

B「自分を立て直す為にも、ぱーっと楽しいことをしようと、あちこち出かけて…。でも…これ見てください」

A「『PTSDの危機は災害から3・4年後に訪れる』『今後10年間の心のケアが必要』…か」

B「こんなに長い期間、心のケアが必要だなんて、思ってもみませんでした。気分転換なんて、している場合じゃなかったのかな…。それに、これからもずっと危機感をもち続けなくちゃならないなんて…耐えられるだろうか…」

A「本当ね。私も不安だわ…」

B「…A先生にしては、珍しいですね。いつもビシッと言ってくれるのに」

A「誰だって大変な状況よ。でも、私は今こうしてB先生と話しているだけで、少しは気持ちが落ち着くわ。これからは、先生方同士でサポートし合うことが、ますます必要になってくるかも知れないわね」

B「そうですね。二学期は、僕も愚痴を言うだけでなく、聞き手に回らないと…」

A「あ、そうだ。私もこんなの見つけたのよ」

B「…ああ、そうか…」

『前を向いて少しずつ、今できることを精一杯』



## 子どもたちの心のケアについて

### =子どもの不適応問題に早期に気付くために=

#### 『教師の対応』

1. 心の危機サインに気付く。  
(問題行動に陥る前の何らかな前兆の行動)

「身体的訴え」「行動」を個々にあるいは総合的にみることで、心の状況を把握する。

2. 何事も起きていないときの子どもとのかかわりを大切に  
にする。

3. 他の教員や保護者とよりよい関係を築いておく。

#### 観察のポイント

①【学業成績の変化】【言動の急変化】【児童生徒の表現物の変化】

・成績の急低下、急に反抗的になる、つき合う友達が変わる、子どもが書いた作文、答案、描いた絵や作成した造形物の変化などには、子どもの心の不安定な状態や大きな変化が生じていること、言葉には表現できなかった心が反映されている。

②【態度、行動面の変化】【身体に表れる変化】

・顔色の優れなさ、表情のこぼれ、行動の落ち着きのなさ、授業に集中できない、けがの頻発、頻尿、頭痛、下痢、原因不明の熱など態度、行動面の変化や身体に表れる症状にはストレス等の影響がもたらす心理的症状が生じている。

参考資料：文部科学省生徒指導提要・児童精神医学CBCL先行指標

## 子どもを元気にする先生の一言

### 研修を受講された先生方の感想

「授業力向上講座Ⅰ」から

○ 数学の授業で重視される「言語活動の充実」はとても難しいことだと感じていた。言語活動として言葉や数、式、図、表グラフを生徒自身が自ら使えるようになったらすごいことだと思うし、結び付けて考えられる生徒を育てたいと考える。今回の研修で、授業でねらうことを達成させるためには、やはり再構成しながら目的に沿った展開を考えることだと改めて考えることができた。(中学校教諭)

「教科指導研修① 教材研究」から

○ 授業設計の基本、指導案作成上の留意点、言語活動の位置付け等、授業を考える上での基本事項、求められていることについて、改めて確認しながら指導案を考えることができました。(小学校教諭)



### =子どもを元気にするには

何はなくても「コンプリメント」(賞賛)＝

① 日頃からその子どものすてきな部分を見つけてメモしておく。

② 一言ポジティブコメント(例)

とてもよくできたね/努力しているね/いいぞ! その調子で/えらい/それでいいんだよ/おめでとうステキだね/すごいね/すごかったよ/よくやったよ/よかったね/よくできました/さえてるね/なるほどさすが/うまくなったね/がんばったね/ありがとう/たすかったよ/感激です/頼りにしてるよ/一生懸命だね/根性ある/君のよさだね/輝いているね

